

継続事業評価調書  
【道路事業】

土木局地域道路室

投資事業評価調書（継続：再評価）

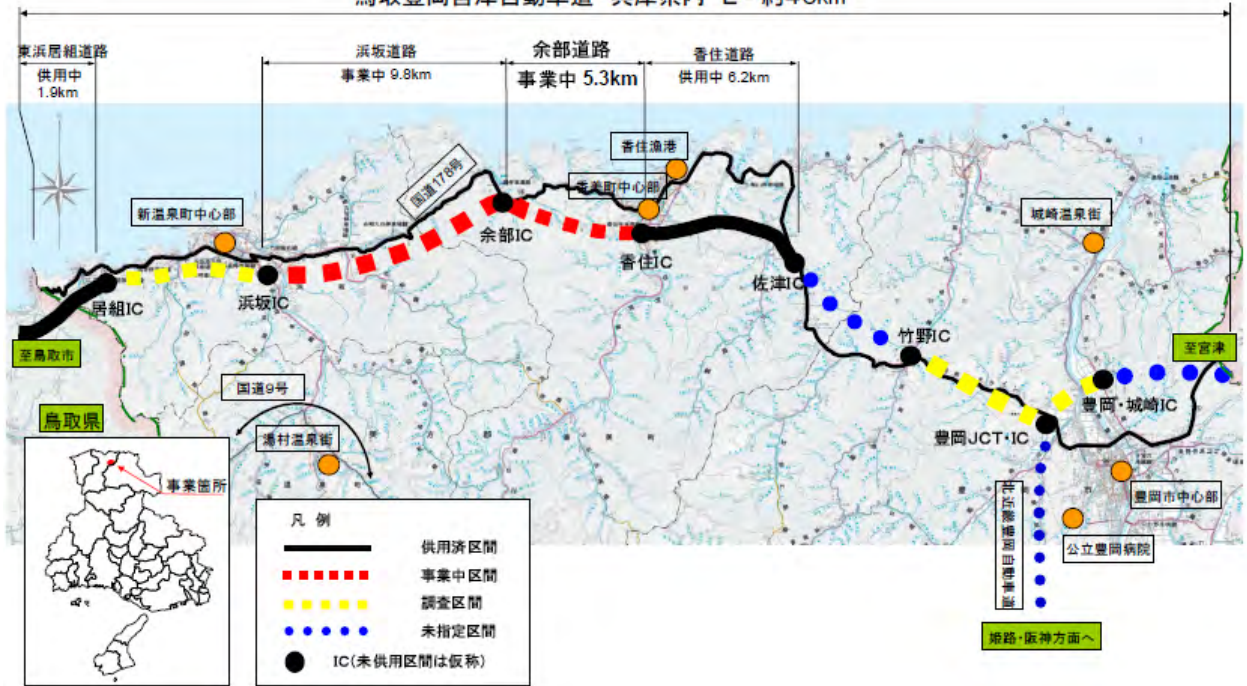
|   |  |                           |   |             |                 |
|---|--|---------------------------|---|-------------|-----------------|
| 部課室名  | 県土整備部土木局<br>地域道路室  | 記入責任者職氏名<br>(担当者氏名)       | 地域道路室長 高井 嘉親<br>(主幹兼国道係長 濱 浩二)  | 内線          | 4362<br>(4374)  |
| 事業種目  | 道 路  | 事業名                       | 事業区間  | 総事業費        | 227 億円          |
|   |  | 道路改築事業<br>一般国道 178 号 余部道路 | みかたくんかみちょう<br>美方郡香美町<br>かすみくもり あまるべ<br>香住区森～余部  | 内地地補償費      | 7 億円            |
| 所在地   |  | 事業採択<br>年 度               | 着工年度  | 完成予定<br>年 度 | 進捗率<br>(内用補進捗率) |
| みかたくんかみちょうかすみくもり あまるべ<br>美方郡香美町香住区森～余部  |  | H12                       | H12   | H22         | 99.6%<br>(100%) |
| 事業の目的   |  |                           | 事業内容  |             |                 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・高速道六基幹軸の日本海沿岸軸を構成する地域高規格道路「鳥取豊岡宮津自動車道（以下 T T M）」の一部区間である余部道路を整備し、広域的な循環型ネットワークの形成を図る。</li> <li>・現道（国道 178 号）の香住～余部間は、幅員狭小な箇所や、災害・交通事故が多発する区間があり、バイパス機能を持つ当該区間の整備により、安全で円滑な道路交通を確保する。</li> </ul> |  |                           | 道路改築事業 L=5,300 m<br>【構造規格】 1種3級(平地部)<br>【計画幅員】 7.0(12.5)m(2車線)<br>【計画交通量】 9,200台/日<br>【現況交通量】 6,220台/日<br>(H17交通センサス)<br>【負担割合】 国:5.5/10、県:4.5/10 |             |                 |
| 事業を取り巻く<br>社会経済情勢等<br>の変化   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ T T M を構成する香住道路が平成 17 年 3 月に、東浜居組道路が平成 20 年 11 月に供用を開始し、当該区間と連続する浜坂道路が平成 20 年度末に新たに事業化された。北近畿豊岡自動車道が平成 23 年度に八鹿まで、平成 20 年代後半には豊岡まで延伸される予定であり、広域ネットワークを形成する当該区間の必要性は高まっている。</li> </ul>   |                           |   |             |                 |
| 進捗状況  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 12 年度に事業着手し、平成 13 年度から用地買収及び工事に着手した。</li> <li>・平成 21 年度末にトンネル(3箇所)や橋梁(7箇所)等の大型土木構造物の概成を予定。</li> <li>・平成 22 年度に安全施設工等を実施し、平成 22 年度内の供用開始を目指す。</li> <li>・進捗率は、事業費ベースで 99.6%、用地取得で 100%である。(平成 21 年度末予定)</li> <li>・工事用進入路の借地について用地交渉が難航したことから事業期間を 3 年延伸し、平成 19 年度完成予定から平成 22 年度完成予定とする。</li> </ul>  |                           |   |             |                 |
| 評価視点  | 評価結果の説明  |                           |   |             |                 |
| (1)必要性  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ T T M は日本海側で唯一、高規格幹線道路網の空白地帯となっている鳥取県東部・但馬地域・京都府北部を結び、日本海沿岸拠点間の連携を強化する地域高規格道路である。当該区間等の整備により、広域的なネットワークが形成され、地域の交流促進、産業の活性化、観光振興等、地域の活性化が図られる。</li> <li>・国道 178 号は第一次緊急輸送道路の指定を受けているが、現道は法面崩壊や冠水等により交通が遮断されることがあり、当該区間の整備により、災害に強い道路ネットワークを形成する。</li> <li>・現道の市街地部分では交通事故が多発しており、当該区間の整備により、安全・安心な道路交通を確保する。</li> <li>・香美町・新温泉町では高齢化率が 30%を超えているが、3次救急医療施設がないため、当該区間の整備により、3次救急医療施設の立地する豊岡市等への移動時間の短縮を図る。(新温泉町役場から豊岡病院まで約 5 分短縮)</li> </ul> |                           |   |             |                 |
| (2)有効性・効率性  | 費用便益比 B / C = 1 . 8 残事業 B / C = 6 0 . 6  |                           |   |             |                 |
| (3)環境適合性  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業に先立って環境影響評価を実施しており、貴重種の移植、切土法面等の緑化による自然植生の回復など、環境の保全に配慮した事業を実施している。</li> </ul>   |                           |   |             |                 |
| (4)優先性  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業は工事着手後、順調に進捗し、平成 21 年度末の事業進捗率 99.6%、平成 22 年度の供用を見込んでいる。</li> <li>・バイパス整備であるため、供用開始によりはじめて整備効果が発現することや、香住道路と隣接する当該区間の供用により、連続した 11.5km が供用されることになることから、極めて必要性・優先性が高い。</li> <li>・当該区間の早期供用を望む地域からの要望は依然として強い。</li> </ul>   |                           |   |             |                 |
| 再評価の結果  | 継続   | 左の理由                      | 事業の必要性は事業採択当時と何ら変わっておらず、残事業がわずかであること、また、当該区間の早期供用を望む地域からの要望は依然として強いことなどから、継続して事業を実施する必要がある。   |             |                 |

# 事業進捗状況概要図（継続：再評価）

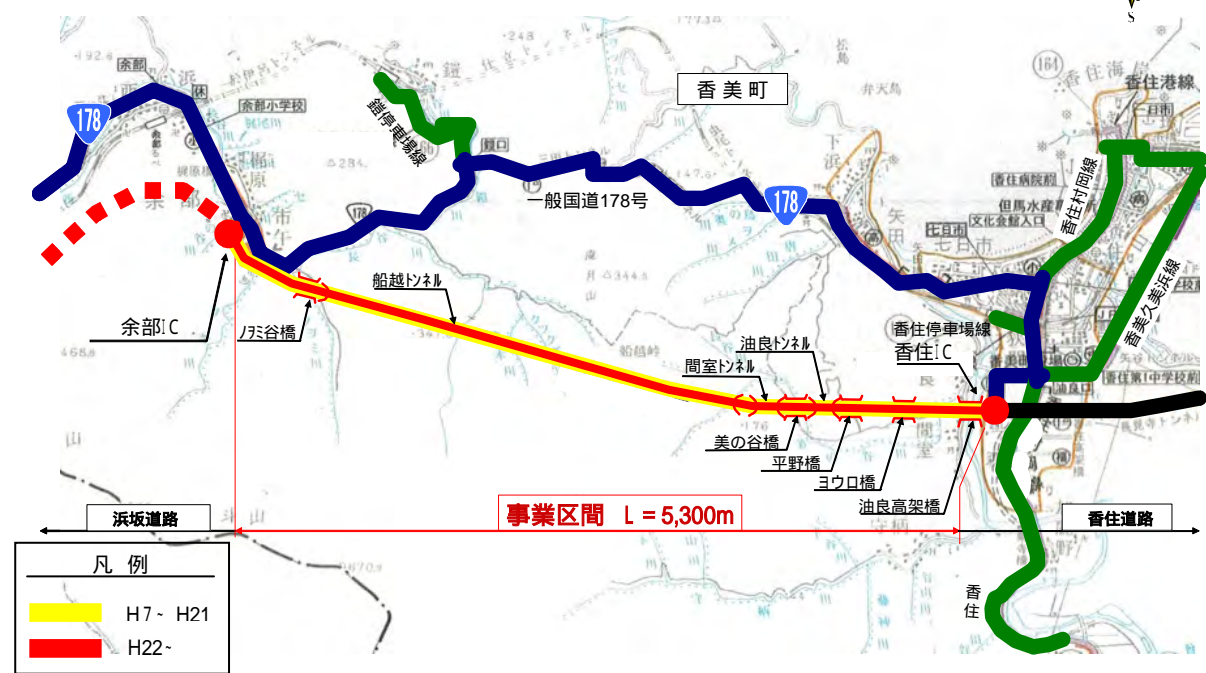
|     |      |        |               |
|-----|------|--------|---------------|
| 事業名 | 道路事業 | 路線・河川名 | 一般国道178号 余部道路 |
|-----|------|--------|---------------|

## [ 鳥取豊岡宮津自動車道 全体図（兵庫県内） ]

鳥取豊岡宮津自動車道 兵庫県内 L=約46km



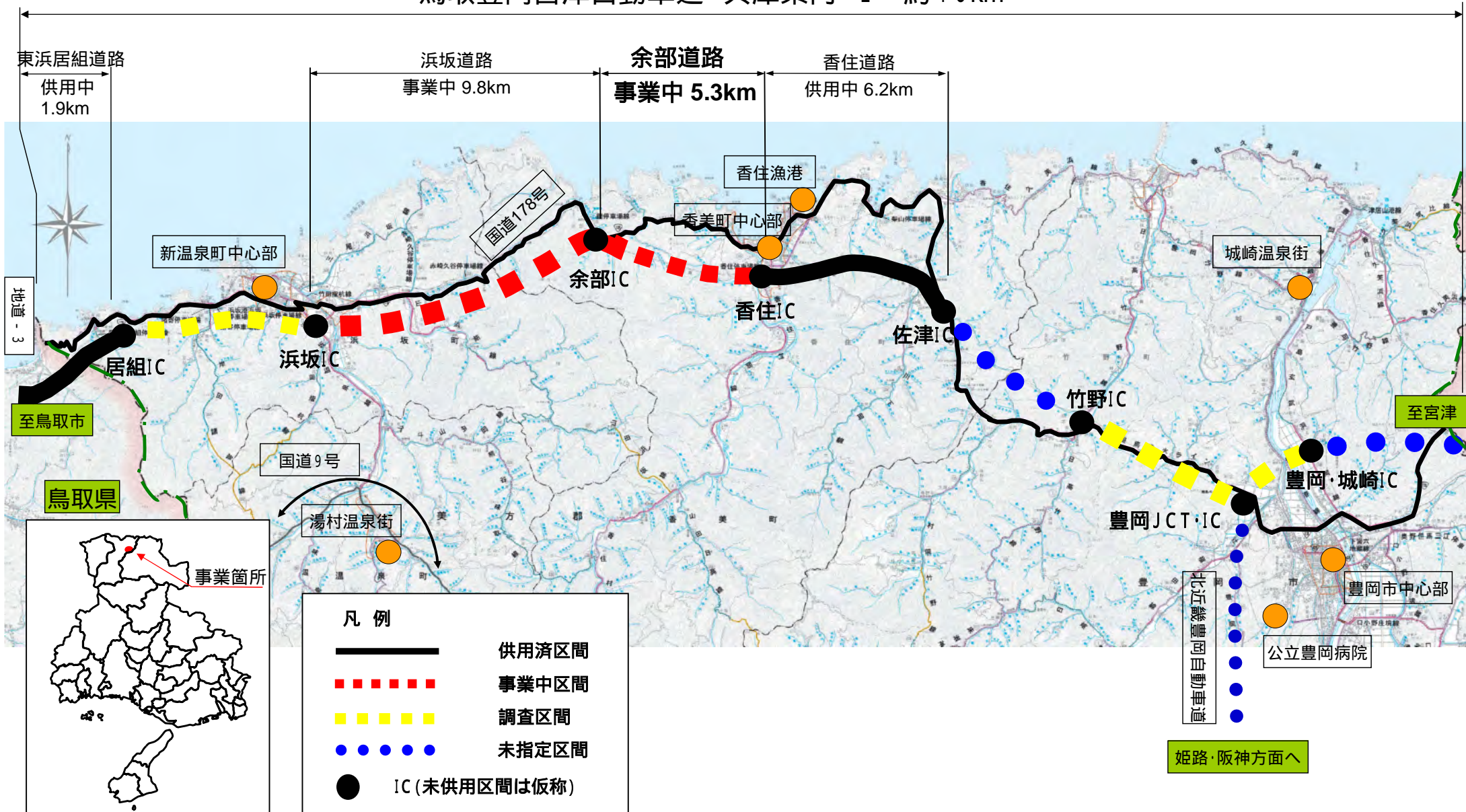
## [ 余部道路 位置図 ]



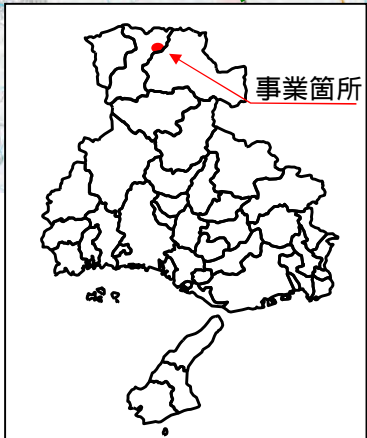
|           | 事業進捗状況・予定  | 整備効果                                 |
|-----------|--|--------------------------------------|
| 全体        | H12～22年度【事業費＝227億円】<br>延長：L=5.3km<br>用地：約80,000㎡                                   |                                      |
| 過去10年間    | H12～21年度【事業費＝226億円】進捗率99.6%<br>用地進捗率 100%（平成21年3月末）<br>平成21年度 主要な大型土木構造物の概成、設備工事着手 | 整備効果は特になし                            |
| 今後1年間（予定） | H22年度【事業費＝1億円】<br>平成22年度 安全施設工<br>全線供用予定   | 供用開始によりはじめて整備効果が発現し、円滑なネットワークが形成される。 |

# 鳥取豊岡宮津自動車道 全体図

鳥取豊岡宮津自動車道 兵庫県内 L = 約46km

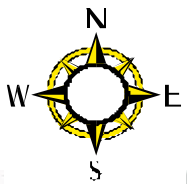


| 凡例 |               |
|----|---------------|
|    | 供用済区間         |
|    | 事業中区間         |
|    | 調査区間          |
|    | 未指定区間         |
|    | IC (未供用区間は仮称) |



姫路・阪神方面へ

# 余部道路 位置図

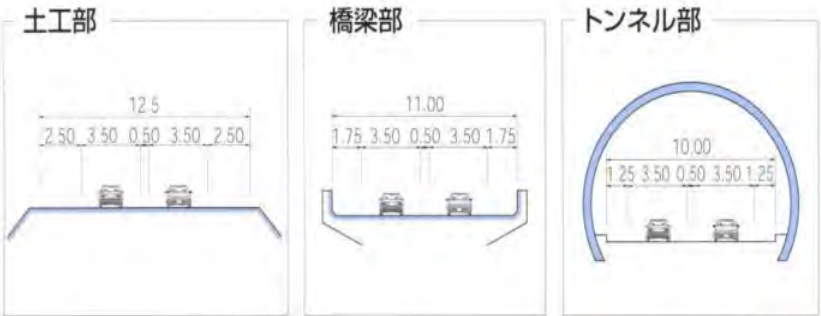


**鳥取豊岡宮津自動車道 余部道路 (H12~H22)**  
**L = 5,300m W = 7.0 (12.5) m 全体C = 22,700百万円**

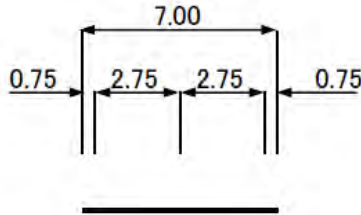
浜坂道路  
(20年度事業化)

香住道路  
(H17.3供用)

## 代表的な幅員構成

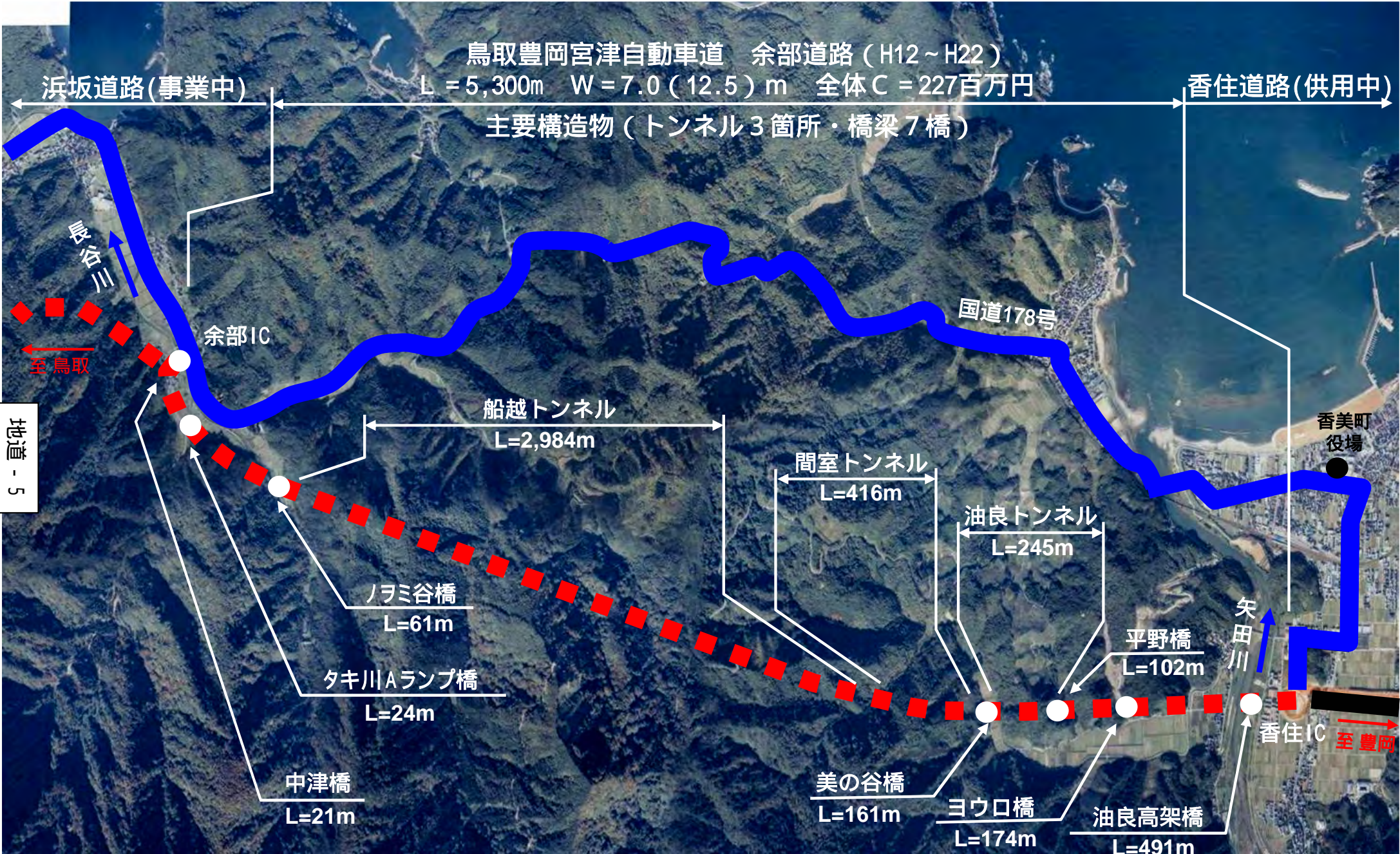


## 現道の代表的な幅員構成



- 凡 例
- : 国道
  - : 供用済区間
  - - - : 事業中区間
  - : 県道

# 全体計画



# 進捗状況(1)



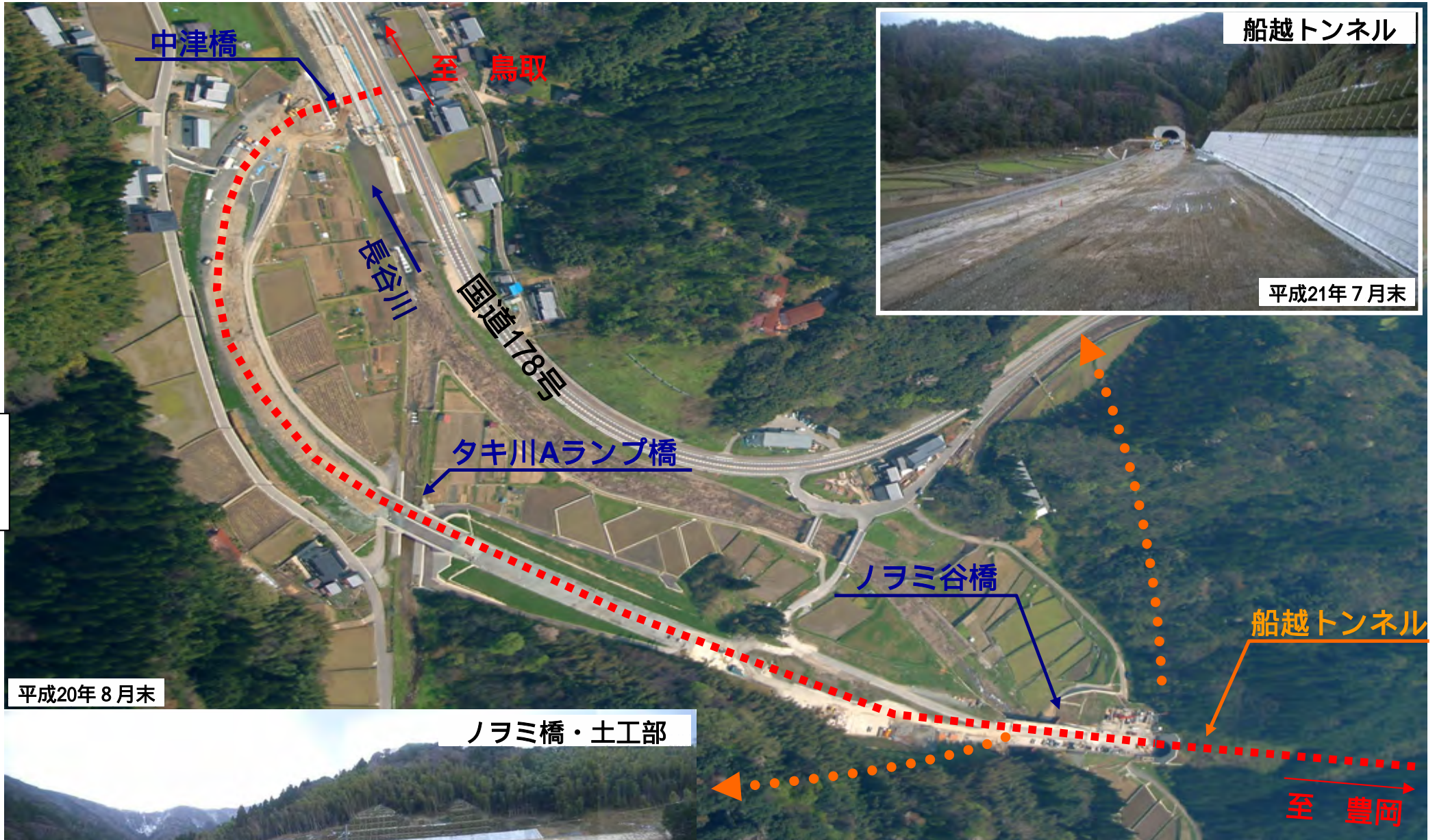
地道 - 6

余部道路の整備状況(平成21年度末の事業進捗率:約99.6%(予定))

- ・平成12年度から事業着手。平成13年度から用地買収・工事着手。平成17年度までに用地買収完了。
- ・主要な構造物(トンネル3箇所、橋梁7橋)は、平成22年3月に概成予定。
- ・船越トンネル(L=2,984m)は、平成21年3月にトンネル本体完成、油良トンネル(L=245m)・間室トンネル(L=416m)は、平成22年3月にトンネル本体完成の予定。油良高架橋(L=491m)は現在、第2工区を施工中。

# 進捗状況(2)

地道 - 7

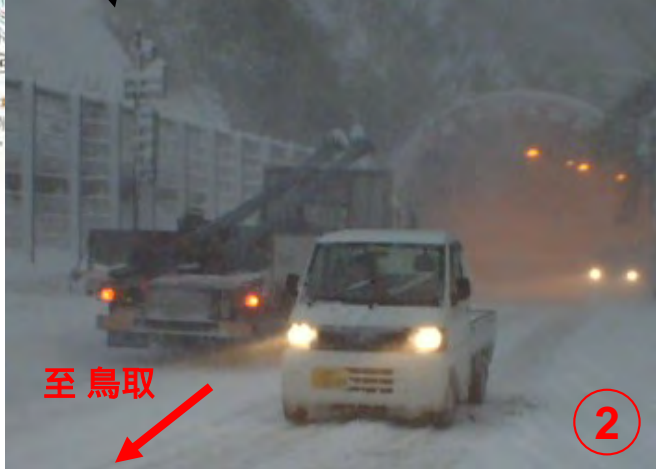


・残る橋梁6橋は、舗装工を残して完成。  
・平成22年度中の全線供用を目指す。



# 現道の状況

冬季は雪のため、より幅員が狭小になり、普通車でも離合が困難に



- ・余部道路の現道（国道178号）は幅員狭小な区間があり、大型車の離合が困難（大型車混入率約9%）
- ・冬季は雪のため、より幅員が狭小になり、普通車でも離合が困難。雪に強い道路整備が求められている。

地道 - 8

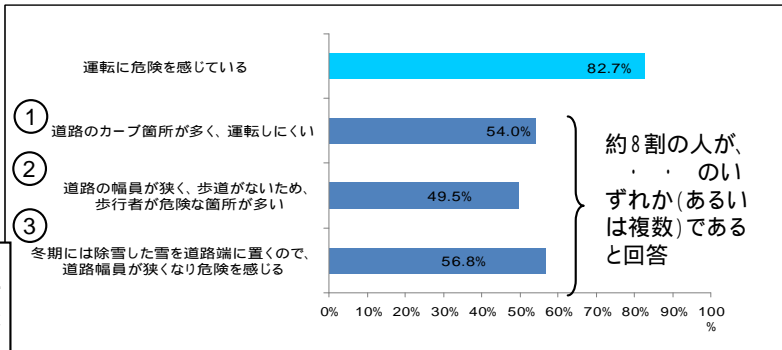




# 交通事故発生状況

- 余部道路の現道部分（国道178号）では、過去5年間（平成16～20年度）に交通事故が45件発生（うち死亡事故1件）
- 平成17年3月に供用を開始した香住道路の現道部分では、平成18年度以降、交通事故の発生件数が減少。
- 香美町香住区・新温泉町住民へのアンケート調査では、約8割が但馬地域の道路に危険を感じていると回答。安全・安心な道路整備が求められている。

住民アンケートでは約8割が「但馬地域の道路に危険を感じる」と回答。



香住道路・余部道路の道路整備に関するアンケート調査 (平成21年7月 新温泉土木事務所実施)より

